

母乳は 授乳時間 × 回数

人工乳は 1 回の ml × 回数

離乳進行状況を記載させる。

資料の整理方法にかかわることであるが、1年以上にわたっての同一栄養法を継続させることを原則とするが、母乳栄養児に関しては困難も予想されるので、場合によっては baby-month を計算して、罹病状況についての比率を出す場合の分母として合理的か否かをも検討する予定である。

乳児栄養法別，疾病罹病状況

岩手医科大学小児科 畠山 富而

調査地域：岩手県紫波町，同県安代町である。

紫波町：県都盛岡市の南16Kmに位置する半商半農の町であり県内では民度の高い町である。

安代町：奥羽山系山麓に位置し秋田県に接し寒冷豪雪の町である。

調査対象：両町に在住する乳児で奇形，代謝異常を伴わない，身体発育M± $\frac{1}{2}$ σ以上の者で，しかも慢性疾患を有しない正常と判定された乳児である。勿論，低体重出生児は含まない。

紫波町：母乳栄養児，延209名（但し，生後5日までにミルクを飲んだものを含む），次いで母乳から1～2カ月令で混合栄養，人工栄養に移ったもの延106名，混合栄養児延118名，混合栄養から人工栄養に移ったもの延61名（この中には半カ月程度母乳を途中で哺乳したものの混合から母乳さらに人工栄養へと移ったものも含んでいる。）人工栄養児（1カ月令の間混合栄養のもの4名を含む）延62名である。

安代町：母乳栄養児（紫波町同様生後5日までにミルクを飲んだ者を含んでいるが，しかし，安代町の場合は殆んどのが純粋の母乳栄養児である）延125名，混合栄養児延33名で人工栄養児は1名のみである。

調査方法：両地区とも毎月1回，乳幼児健診を研究者畠山が直接行っており，その際，健診と母親から疾病罹病状況を聴取し合せて調査を行った。

調査期間：紫波町，50年5月生れより翌年2月までの9カ月間，安代町は50年7月生れより6カ月間であり，なお継続中である。

結果：紫波町：医師を受診したもの，母乳栄養児10%，母乳→混合，人工栄養児16%，混合栄養児20.3%，混合→人工栄養児18%，人工栄養児25.8%であった。その内容は，呼吸器系疾患主として上気道炎は，母乳栄養児，5.7%，母乳→混合，人工栄養児15.1%，混合栄養児15.3%，混合→人工栄養児14.8%，人工栄養児16.1%であった。消化器系疾患，主として下痢は，母乳栄養児3.8%，

母乳→混合・人工栄養児 2.8%，混合栄養児 4.2%，混合→人工栄養児 3.3%，人工栄養児 3.9% であった。（この数値は上気道炎と下痢と重複している者もある）。湿疹は、母乳栄養児 3.3%，母乳→混合，人工栄養児 0.9%，混合栄養児 2.5%，混合→人工栄養児 3.3%，人工栄養児 9.7% であった。さらに有熱期間を見ると母乳栄養児 3.8%，母乳→混合，人工栄養児 9.4%，混合栄養児 11.9%，混合→人工栄養児 14.8%，人工栄養児 9.7% であった。下痢の期間では、母乳栄養児 6.7%，母乳→混合，人工栄養児では 5.7%，混合栄養児 12.7%，混合→人工栄養児 23%，人工栄養児 16.1% であった。咳嗽期間では母乳栄養児 7.7%，母乳→混合，人工栄養児 35.5%，混合栄養児 37.8%，混合→人工栄養児 29.5%，人工栄養児 32.3% であった。医師の治療日数は母乳栄養児 1人当り 0.18日，母乳→混合・人工栄養児 0.40日，混合栄養児 0.48日，混合→人工栄養児 0.44日，人工栄養児 0.55日であった。

安代町：医師を受診したもの，母乳栄養児 16%，混合栄養児 33.3%，上気道炎：母乳栄養児 8.8%，混合栄養児 15.2%，下痢：母乳栄養児 1.6%，混合栄養児 3%，有熱期間：母乳栄養児 4.0%，混合栄養児 12%，下痢の期間：母乳栄養児 1.6%，混合栄養児 6.1%，咳嗽期間：母乳栄養児 8.8%，混合栄養児 33.3%，医師の治療日数は一人当り母乳栄養児 0.15日，混合栄養児 0.48日であった。

以上，この2地域における栄養法別疾病罹病状況から判断すると母乳栄養児は混合栄養児，人工栄養児に比して，上気道炎に対する罹病は少く，有熱期間も短く，咳嗽日数も少く，さらに下痢の期間も短いことが明らかとなった。また，全体の治療日数においても，母乳栄養児は他栄養児の約 $\frac{1}{3}$ であった。紫波町と安代町においては湿疹を除き，罹病傾向に大きな差は認められなかった。（なお，湿疹については脂ろう性湿疹と他の湿疹を区別する必要を痛感した。）

母 乳 栄 養 児

（安代町）

項目 1ヶ月	栄養法		医師の受診		病 名			有熱期間	下痢期間	咳嗽期間	医師の分率
	母 乳 児	混 合 児	受診 した 人 数 %	受診 した 人 数 %	上気道炎 %	下痢 %	咳嗽 %	%	%	%	日
2	36		19.4 (39)	2.8 (13.9)	16.7 (13.9)					2.8	0.19
3	25		8.0 (2.0)		4.0 (12.0)	4.0	4.0				0.04
4	25		16.0 (4.0)		16.0 (4.0)		8.0		16.0		0.16
5	20		15.0 (5.0)		15.0 (5.0)		5.0		15.0		0.15
6	14		21.4 (7.0)		14.3 (7.0)	7.1		14.3	14.3		0.21
7	5		20.0		20.0		20.0		20.0		0.2
8											
9											
合計 (総人数)	125		20 16.0		11 8.8	7 5.6	2 1.6	5 4.0	2 1.6	11 8.8	19 0.15

()は受診した人数

母乳栄養児→混合・人工栄養児

項目 月令	栄養法			医師の受診			病名			発熱期間 %	下痢期間 %	脱水期間 %	医師の診断 日
	母乳 %	混合 %	乳 %	受診した %	受診しない %	上気道炎 %	麻疹 %	下痢 %					
1ヶ月	20			(5.0)		(5.0)							
2	9		11	(14.3)	(4.8)	(9.5)							
3	2	1	17	25.0		25.0	5.0	5.0	5.0	40.0	0.45		
4		5	12	17.6		17.6		5.9		35.3	0.41		
5		7	9	18.8		18.8		6.3		56.3	0.63		
6		5	9	14.3		7.1	7.1	21.4		35.7	0.64		
7		6	5	27.3		27.3	18.2	27.3	45.4	53.8	0.55		
8		3	2	20.0		20.0				60.0	0.2		
9		2											
合計 (総人数)		106		17 16.0		16 15.1	1 0.9	3 2.8	10 9.4	6 5.7	38 35.8	4.2 0.40	

()は受診しなかった者

混合栄養児

(交代町)

項目 月令	栄養法			医師の受診			病名			発熱期間 %	下痢期間 %	脱水期間 %	医師の診断 日
	母乳 %	混合 %	乳 %	受診した %	受診しない %	上気道炎 %	麻疹 %	下痢 %					
1ヶ月													
2			11	36.4		9.1	27.3	9.1		18.2	0.56		
3			5	22.2		11.1	11.1	11.1		22.2	0.33		
4			5	40.0		20.0	20.0	20.0		20.0	0.6		
5			4	50.0	(25.0)	25.0	(25.0)	25.0		50.0	50.0	1.0	
6			5	33.3		33.3		33.3		100.0	0.67		
7			1										
8													
9													
合計 (総人数)			33	33.3		5 15.2	5 15.2	1 3.0	4 12.0	2 6.1	11 33.3	16 0.48	

()は受診しなかった者

混合栄養児→人工栄養児

項目 月令	栄養法			医師の受診			病名			発熱期間 %	下痢期間 %	脱水期間 %	医師の診断 日
	母乳 %	混合 %	乳 %	受診した %	受診しない %	上気道炎 %	麻疹 %	下痢 %					
1ヶ月			9	20.0		20.0				50.0	5.0		
2		1	8	20.0		10.0	10.0	30.0		20.0	0.3		
3		1	7	11.1		11.1					0.22		
4		7	2	22.2	(11.1)	22.2	(11.1)	22.2		44.4	0.33		
5		6	1	28.6		28.6	14.3	57.1	42.9	85.3	0.57		
6		7		14.3		14.3	14.3	157.0	28.6	0.16			
7		6		16.7		16.7			33.3	0.17			
8		3											
9													
合計 (総人数)		61		11 18.0		9 14.8	2 3.3	2 3.3	9 14.8	14 23.0	18 29.5	27 0.44	

()は受診しなかった者

人工栄養児

項目 月令	栄養法			医師の受診		総 名			発熱期間 %	下痢期間 %	脱水期間 %	医師の治癒 日
	母 名	乳 名	混合	受診回 %	受診日 %	上痢日 %	下痢日 %	下痢日 %				
1ヶ月	7	4	36.4	(9.1)	18.2	18.2	(9.1)				18.2	0.36
2	11		18.2		9.1	9.1		27.3			27.3	0.73
3	11		18.1		9.1	9.1	9.1	9.1				0.18
4	9		44.4		33.3	22.2		22.2			66.7	0.89
5	8		12.5	(12.5)	12.5	(12.5)			57.5	37.5		0.25
6	6		33.3	(16.7)	33.3	(16.7)			50.0	100.0		0.33
7	4		25.0				25.0		100.0			1.3
8	1											
9	1											
合計 (総人数)	62		16 25.8		10 16.1	6 9.7	2 3.9	6 9.7	16 16.1	20 32.3		34 0.55

()は受診しなかった日

母乳栄養児

(安代町)

項目 月令	栄養法			医師の受診		総 名			発熱期間 %	下痢期間 %	脱水期間 %	医師の治癒 日
	母 名	乳 名	混合	受診回 %	受診日 %	上痢日 %	下痢日 %	下痢日 %				
1ヶ月												
2	36			19.4	(13.9)	2.8	16.7	(13.9)			2.8	0.19
3	25			8.0	(12.0)		4.0	(12.0)	4.0			0.04
4	25			16.0	(4.0)	16.0		(4.0)	8.0		16.0	0.16
5	26			15.0	(5.0)	15.0		(5.0)	5.0		15.0	0.15
6	14			21.4	(7.1)	14.3		(7.1)	7.1		14.3	0.21
7	5			20.0		20.0			20.0		20.0	0.2
8												
9												
合計 (総人数)	125			20 16.0		11 8.8	7 5.6	2 1.6	5 4.0	2 1.6	11 8.8	19 0.15

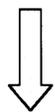
()は受診しなかった日

混合栄養児

(安代町)

項目 月令	栄養法			医師の受診		総 名			発熱期間 %	下痢期間 %	脱水期間 %	医師の治癒 日
	母 名	乳 名	混合	受診回 %	受診日 %	上痢日 %	下痢日 %	下痢日 %				
1ヶ月												
2		11		36.4		9.1	27.3		9.1		18.2	0.56
3		3		22.2		11.1	11.1		11.1		22.2	0.33
4		5		40.0		20.0	20.0		20.0		20.0	0.6
5		4		50.0	(25.0)	25.0	(25.0)	25.0		50.0	50.0	1.0
6		3		33.3		33.3			33.3		100.0	0.67
7		1										
8												
9												
合計 (総人数)		33		11 33.3		5 15.2	5 15.2	1 3.0	4 12.0	2 6.1	11 33.3	16 0.48

()は受診しなかった日



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



調査地域:岩手県紫波町, 同県安代町である。

紫波町: 県都盛岡市の南 16Km に位置する半商半農の町であり県内では民度の高い町である。

安代町: 奥羽山系山麓に位置し秋田県に接し寒冷豪雪の町である。

調査対象: 両町に在住する乳児で奇形, 代謝異常を伴わない, 身体発育 $M \pm 1/2 \sigma$ 以上の者で, しかも慢性疾患を有しない正常と判定された乳児である。勿論, 低体重出生児は含まない。

紫波町: 母乳栄養児, 延 209 名 (但し, 生後 5 日までミルクを飲んだものを含む), 次いで母乳から 1~2 カ月令で混合栄養, 人工栄養に移ったもの延 106 名, 混合栄養児延 118 名, 混合栄養から人工栄養に移ったもの延 61 名 (この中には半カ月程度母乳を途中で哺乳したもの混合から母乳さらに人工栄養へと移ったものも含んでいる。)人工栄養児 (1 カ月令の間混合栄養のもの 4 名を含む) 延 62 名である。